

令和7年3月31日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 須賀川未来会議

代表者名 代表 大河内 和彦



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

須賀川市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、令和6年度政務活動費に係る収入及び支出について下記のとおり報告します。

記

1 収 入 政務活動費 1,080,000 円

(30,000 円× 3 人× 12 月)

(円× 人× 月)

2 支 出 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	434,691	①旅費(5/14~15) 87,030
		②旅費(11/11~13) 347,661
資料作成購入費	14,256	①参考図書購入費 14,256
広 報 費	619,140	①会派報発行(8月) 391,440
		②会派報発行(1月) 227,700
事 務 費	11,159	①インクカートリッジ 2個 3,150
		②コピー用紙 2,500枚他 7,909
計	1,079,246	

3 残 額 (返還額)

754 円

* 利息分は含めない。

政 務 活 動 費 会 計 帳 簿

令和6年度

経理責任者 深谷政憲

月 日	項 目	収 入 額	支 出 額	備 考	支出項目
4/22	上半期政務活動費	540,000		3人*6月分	
5/8	視察研修費		87,030	3人*29,010円	調査研究費
5/8	参考図書購入費		14,256	月間「ガバナンス」 12冊*1,188円	資料作成購入費
8/1	会派報発行		391,440	21,150部	広報費
9/4	事務用品購入		3,250	インクカートリッジ	事務費
10/21	下半期政務活動費	540,000		3人*6月分	
10/28	視察研修費		347,661	3人*115,887円	調査研究費
12/23	会派報発行		227,700	9,200部	広報費
3/6	事務用品購入		7,909	コピー紙他	事務費
収 支 計		1,080,000	1,079,246	残額 754 円	

精算確認年月日

令和7年3月31日

確認者氏名： 大河内和彦



令和6年度 政務活動費実績書

会派名 須賀川未来会議

事業名	事業内容
行政視察	行政視察① 1 期 日: 令和6年5月14日(火)～15日(水) 2 視察地: ①福島県庁 ②(株)ゴリラファーム/宮城県富谷市 就労継続支援B型事業所/AMEHARE(アメハレ) 3 視察内容 1) 福島県庁(5月14日) ①ローカル鉄道利活用について(水郡線) 説明者: 生活環境部生活交通課長 佐藤 司 氏 ②地域計画策定・実現加速化支援事業について 説明者: 農林水産部農業担い手課長 佐藤 周 氏 2) (株)ゴリラファーム(5月15日) ①農福連係事業について 説明者: 代表取締役兼職業指導員 高橋 まち子 氏 サービス管理責任者 千葉 藍子 氏 3) 施設見学(5月15日) ①せんだいメディアテーク/仙台市青葉区春日町2-1 説明者: 企画・活動支援室長 清水 有 氏 行政視察② 1 期 日: 令和6年11月11日(月)～13日(水) 2 視察地: 香川県丸亀市、愛媛県八幡浜市 3 視察内容 1) 香川県丸亀市(11月11日) ①「シティプロモーションについて」 ②「移住定住について」 【説明者】 秘書課広報戦略室長 中原 直樹 氏 政策課主査 大川 智 氏 2) 愛媛県八幡浜市(11月12日) ①「果樹(柑橘)振興策について」 ②「議員定数と報酬について」 【説明者】 農林課課長補佐 中井崇滋 氏 農林課係長 西村 耕平 氏 議会事務局長 水岡 能成 氏 同 調査係長 黒田 昌利 氏

会派報発行	①令和6年8月発行 3月議会及び6月議会での会派所属議員の一般質問の概要 令和7年度予算要望書の概要 行政調査報告 ・福島県庁 ・(株) ゴリラファーム (宮城県富谷市) 須賀川市主要事業報告 ・須賀川駅東西自由連絡通路等整備事業の進捗状況について ②令和7年1月発行 9月議会及び12月議会での会派所属議員の一般質問の概要 令和7年度予算要望書の概要 行政調査報告 ・香川県丸亀市 ・愛媛県八幡浜市
--------------	---

調查研究費

令和6年6月3日

須賀川市議会議長 大寺 正晃 様

須賀川市議会 須賀川未来会議
代表 大河内 和彦



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

1 期 日

令和6年5月14日(火)～15日(水)

2 視察研修先・内容等

(1) 福島県庁

【内 容①】ローカル鉄道利活用について(水郡線)

○説明者：生活環境部生活交通課長 佐藤 司 氏

【内 容②】地域計画策定・実現加速化支援事業について

○説明者：農林水産部農業担い手課長 佐藤 周 氏

(2) (株)ゴリラファーム 宮城県富谷市太子堂1丁目14-13

就労継続支援B型事業所 AMEHARE (アメハレ)

【内 容】農福連係事業について

○説明者：代表取締役兼職業指導員 高橋 まち子 氏

サービス管理責任者 千葉 藍子 氏

(3) 施設見学

せんだいメデアテーク 仙台市青葉区春日町2-1

○説明者：企画・活動支援室長 清水 有 氏

3 参 加 者

大河内和彦、溝井光夫、深谷政憲

4 視察概要

添付資料のとおり

以 上



令和6年4月19日

須賀川市議会議長 大寺 正晃 様

会 派 名 須賀川未来会議

代表者名 代表 大河内 和彦



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

1 期 日 令和6年5月14日（火）～15日（水）

2 研 修 地 福島県福島市、宮城県富谷市

3 研修内容

(1) 福島県福島市（福島県庁）

生活環境部「ローカル鉄道利活用について」

農林水産部「地域計画策定・実現加速化支援事業について」

(2) 宮城県富谷市

株式会社ゴリラファーム「農福連携について」

4 参 加 者 大河内和彦（代表）、溝井光夫、深谷政憲

5 旅 費 87,030 円



須賀川市議会須賀川未来会議 行政視察日程

≪視察先及び研修項目≫

- ① 福島県福島市 「ローカル鉄道利活用について」
(福島県庁) 「地域計画策定・実現加速化支援事業について」
- ② 宮城県富谷市 「農福連携について」 (株式会社ゴリラファーム)

【1日目】 5月14日 (火)

須賀川駅	郡山駅	福島駅	(昼食)	福島県庁行政調査
JR東北本線・郡山行	JR東北本線・福島行	徒歩	徒歩	(13:30～15:30)
10:19発/10:31着	10:41発/11:26着			
福島駅	仙台駅	宿舎 (仙台市内)		
徒歩	JR東北本線・仙台行	徒歩		
	16:38発/17:59着			

① 13:30～
生活環境部
「ローカル鉄道利活用について」

② 14:30～
農林水産部
「地域計画策定・実現加速化支援事業について」

【2日目】 5月15日 (水)

宿舎	せんだいメディアテーク見学	(昼食)	仙台駅	
タクシー	(10:00～11:00)	タクシー	徒歩	仙台地下鉄南北線・泉中央行
				11:30発/11:46着
泉中央駅	三ノ関	株式会社ゴリラファーム行政調査	三ノ関	
ミヨコバス吉岡線・吉岡行	タクシー	(13:00～14:30)	タクシー	
11:57発/12:33着				
泉中央駅	仙台駅	郡山駅		
ミヨコバス吉岡線・泉中央行	仙台地下鉄南北線・富沢行	JR東北新幹線・東京行 やまびこ62号		
14:51発/15:28着	15:37発/15:53着	16:25発/17:05着		
須賀川駅				
JR東北本線・新白河行				
17:49発/17:59着				

須賀川未来会議 視察旅費額

5/14（火）～15（水） 1泊2日

議員 3人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考	
鉄道運賃	8,430	5/14	須賀川⇒福島	57.7	990		
		5/14	福島⇒仙台	79.0	1,340		
		5/15	仙台⇒(仙台地下鉄)⇒泉中央	8.5	310		
		5/15	泉中央⇒(仙台地下鉄)⇒仙台	8.5	310		
		5/15	仙台⇒郡山⇒須賀川	136.7	5,480	乗車券(片道:2,310円) 特急券(片道:3,170円) ・仙台～郡山 125.1km	
バス運賃	1,280	5/15	泉中央駅⇒三ノ関	9.5	640		
		5/15	三ノ関⇒泉中央駅	9.5	640		
宿泊	13,300	5/14	仙台市内宿泊	乙地方	13,300		
日当	6,000	5/14, 15	3,000円×2日分			6,000	
計	29,010						

※旅費計 一人当たり 29,010円 × 3人 = 87,030 円

合計	87,030 円
----	----------

令和6年12月4日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

須賀川市議会 須賀川未来会議

代表 大河内 和彦



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和6年11月11日(月)～13日(水)
- 2 視 察 地 香川県丸亀市(1日目 11月11日)
愛媛県八幡浜市(2日目 11月12日)
- 3 視察内容 香川県丸亀市「シティプロモーションについて」
「移住定住について」
愛媛県八幡浜市「果樹(柑橘)振興策について」
「議員定数と報酬について」
- 4 参 加 者 3名 大河内和彦、溝井光夫、深谷政憲
- 5 視察概要 行政調査日程及び調査内容は、別添資料のとおり

以 上



令和6年10月16日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 須賀川未来会議

代表者名 代表 大河内 和彦



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和6年11月11日(月)～13日(水)
- 2 研 修 地 香川県丸亀市、愛媛県八幡浜市
- 3 研修内容
 - (1) 香川県丸亀市
「シティプロモーション及び移住定住について」
 - (2) 愛媛県八幡浜市
「果樹(柑橘)振興策について」「議員定数と報酬について」
- 4 参 加 者 大河内和彦(代表)、溝井光夫、深谷政憲
- 5 旅 費 347,661円

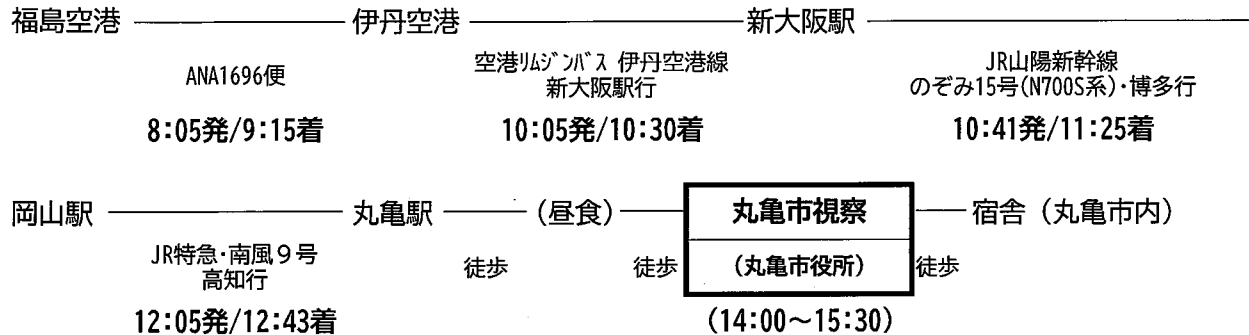


須賀川市議会「須賀川未来会議」 行政視察日程

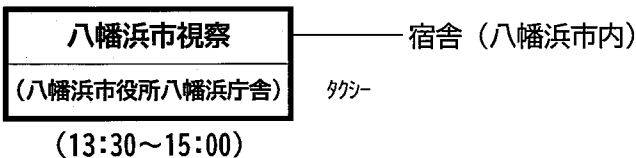
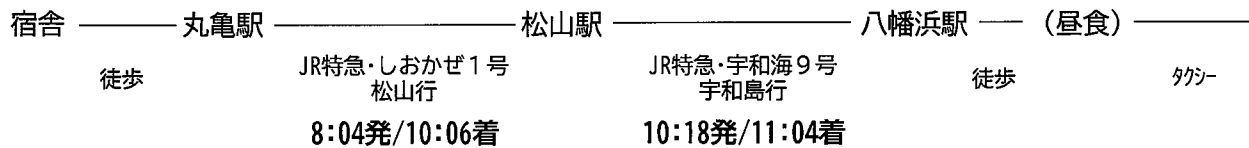
＜視察先及び研修項目＞

- ① 香川県丸亀市 「シティプロモーション及び移住定住について」
 ② 愛媛県八幡浜市 「果樹（柑橘）振興策及び議員定数・報酬について」

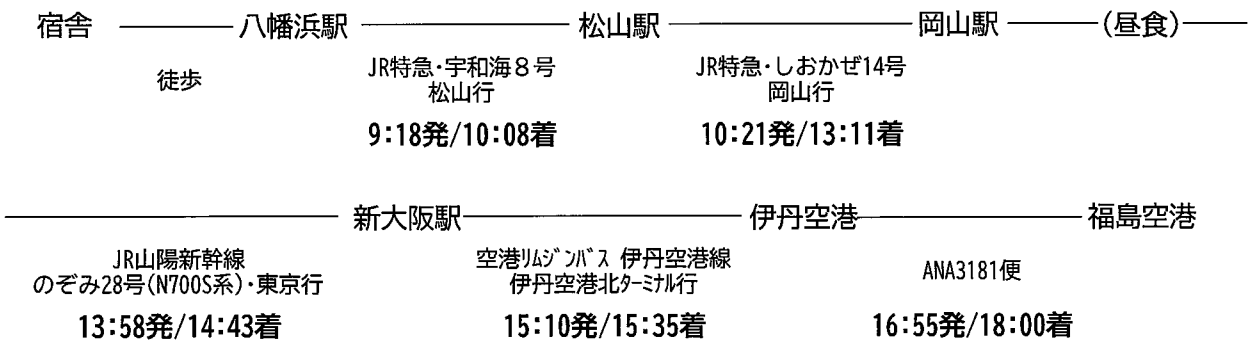
【1日目】 11月11日（月）



【2日目】 11月12日（火）



【3日目】 11月13日（水）



須賀川未来会議 視察旅費額

11月11日(月)～13日(水)

2泊3日

議員 3人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空運賃	47,800	11/11	福島空港⇒伊丹空港	662.0	16,870	
		11/13	伊丹空港⇒福島空港	662.0	30,930	
鉄道運賃	30,690	11/11	新大阪⇒岡山⇒丸亀	228.8	8,430	乗車券(JR) 新大阪～丸亀 4,290円 特急券(JR・山陽新幹線) 新大阪～岡山 3,380円 (180.3km) 特急券(JR) 岡山～丸亀 760円 (48.5km) ※特別職及び移動に係る負担を考慮し、岡山～丸亀間特急利用可
		11/12	丸亀⇒八幡浜	228.0	7,680	乗車券(JR) 丸亀～八幡浜 4,730円 特急券(JR) 丸亀～八幡 2,950円 (228.0km)
		11/13	八幡浜⇒松山⇒岡山⇒新大阪	456.8	14,580	乗車券(JR) 八幡浜～新大阪 8,250円 特急券(JR) 松山～岡山 2,950円 (276.5km) 特急券(JR・山陽新幹線) 岡山～新大阪 3,380円 (180.3km)
バス運賃	1,020	11/11	伊丹空港⇒新大阪駅	11.0	510	
		11/13	新大阪駅⇒伊丹空港	11.0	510	
車賃	777	11/11, 13	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6×2÷21km×37円
宿泊	26,600	11/11	丸亀市内宿泊	乙地方	13,300	
		11/12	八幡浜市内宿泊		13,300	
日当	9,000	11/11～13	3,000円	3日分	9,000	
計	115,887					

※旅費計

一人当たり 115,887円 × 3人 = 347,661 円

合計

347,661 円

領 収 証

須賀川市議会
須賀川未来会議 様

金 額 92990/10

但し 11/11~視察研修代金として

上記金額正に領収致しました。

26 年 10 月 28 日

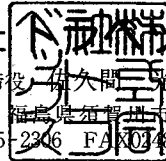
内 訳	
現 金	✓
小切手	
振 込	
手 形	



株式会社

代表取締役 佐久間 光

〒962-0847 福島県須賀川市諏訪町
TEL0248-75-2306 FAX0248-75-2456



取扱者印



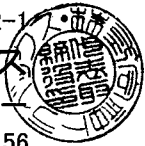
請 求 書

令和 6 年 10 月 24 日

須賀川市議会「須賀川未来会議」 様

下記の通り請求致します

〒962-0854 福島県須賀川市古屋敷 72-1
株式会社トラベックス
代表取締役 佐久間 光一
TEL 0248 (75) 2306 FAX 0248 (75) 2156



名 称 : 視察研修代金
行き先 : 丸亀市・八幡浜市
期 間 : 11月11日(月)～3日間
摘 要 :

請求金額 ¥299,010

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額
航空券代	3	人	47,800	143,400
JR券代	3	人	30,450	91,350
船車券代(リムジンバス)	3	人	1,020	3,060
丸亀宿泊代(1泊朝食)	3	人	10,000	30,000
八幡浜宿泊代(1泊朝食)	3	人	9,300	27,900
企画料金(特別補償1,500万)重大事故支援制度対応	3	人	1,100	3,300
小 計				299,010
消 費 税				内税
合 計 金 額				299,010
備 考				
※ 恐れ入りますが振込み手数料は、お客様ご負担でお願いいたします。				

振込先 : 東邦銀行 須賀川支店(普)1217063 東邦銀行 須賀川東支店(普)0375438
須賀川信用金庫 本店(普)0680011 福島県商工信用組合 須賀川支店(普)3048422
口座名 : (株)トラベックス 代表取締役 佐久間光一

資 料 作 成
購 入 費

請求書

登録番号：T1010001100425

須賀川未来会議

様 令和 6 年 4 月 9 日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社ぎょうせい

代表取締役
社長 成 吉



令和6年4月～令和7年3月分

下記のとおりご請求いたします。
(0450-0083394)

ご請求額
¥14,256.-
内消費税10% ¥1,296.-

お得意様No
(請求No) 50-0884508
(404073215)

お支払は令和 6 年 5 月 31 日までにお願いします。

品 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 2024年 4月号～2025年 3月号	購 読 料	1	14256	14256	

(振 込 先) みずほ銀行東京営業部 (001)
普通預金 4913720 カギヨウセイ
(要打電項目) 404073215 スカガワミライカイキ

01240038538
(3)

振込金受領証

(金融機関・コンビニエンスストア等用)

払込人氏名
須賀川未来会議
様

お問い合わせ番号
500884508

金額 14,256
内消費税額 1,296

受取人
株式会社ぎょうせい

振込先
みずほ銀行東京営業部
普通 4913720
カギヨウセイ

受領印

収入印紙貼付欄

(CVS等取納用)

24508
受領日附印

287911

(お客様控)

ゆうちょう銀行又は郵便局でお支払いの場合は左側の2枚だけをお出しください。

廣 報 費

請求書

約定・都度 No. 006275-1-A

須賀川未来会議 御中

令和 6年 8月 1日

お客様コード 000001119

受注番号 0003432-01/001
担当者 安藤 千晶

TOKIWA トキワ印刷 株式会社

代表取締役 佐々木 信幸

本社/工場 〒967-0023 福島県須賀川市茶畑町 25-6
TEL 0248-76-8116 FAX 0248-76-8116

東京支社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-15-1 タカコービル7階
TEL 03-6264-8125 FAX 03-6264-8327

品名	数量	単位	単価	金額	消費税等	摘要
議会報告B4チラシ (8/4入)	21,150	枚	14	296,100	(10%)	
議会報告B4チラシ (8/4入) 新聞折込料	16,150	枚	3.50	56,525	(10%)	
議会報告B4チラシ (8/4入) 配送料	16,150	枚	0.20	3,230	(10%)	
【10%課税対象】 (税抜額 355,855円 消費税 35,585円 税込額 391,440円)						

恐れ入りますが、振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。
上記の通りご請求申し上げます。

■お振込先銀行

東邦銀行 須賀川支店 普通預金 4940

税抜金額計	消費税等計	御請求額
355,855	35,585	391,440

登録番号 T8380001011307

お客様No. 000001119

領収証

営業 20019

No. 000351-1

須賀川未来会議 御中

日付	2024年08月01日
金額	¥391,440※ (本体 355,855 消費税 35,585)

但し、印刷代として

上記の通り正に領収致しました。

入金内訳

内訳	金額	摘要
現金	¥391,440	8月分品代

TOKIWA トキワ印刷 株式会社

代表取締役 佐々木 信幸

本社/工場 〒967-0023 福島県須賀川市茶畑町 25-6

TEL 0248-76-8116 FAX 0248-76-8116

東京支社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-15-1 タカコービル7階

TEL 03-6264-8125 FAX 03-6264-8327

登録番号 T8380001011307

金額訂正、並びに社印取扱い印無きものは無効です。



取扱者印

折笠

須賀川 未来会議

2024

8

【発行日】
令和6年8月

□発行責任者／大河内和彦 須賀川市塩田字大渋沢220 Tel.090-2275-2367



須賀川駅東西自由通路現地視察

ごあいさつ

残暑厳しき季節となりましたが、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

昨年5月8日から、新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行されました。そこから、徐々にではありますが以前の生活に戻りつつあります。

しかし、コロナが無くなった訳ではありませんので、インフルエンザと同等に気を付けながら日常生活を送っていただきたいと思います。

須賀川市長選挙執行！

7月21日、須賀川市長選挙の開票の結果、大寺正晃氏が当選されました。

大寺市長の初登庁日は8月13日です。

市長は執行権があり、議員は議決権があります。地方議会は、それぞれ別の選挙によって選出される二元代表制です。

市長と議員は対峙する立場にあります。目指すところは同じであると考えていますが、近すぎず遠すぎず互いの立場を尊重して、市民の「幸せ実現」を求めてまいります。これからも、須賀川未来会議をよろしく願ひ申し上げます。

代表 大河内 和彦

- 経済建設常任委員長
- 議会運営委員会
- 須賀川地方広域消防組合議会

副代表 溝井 光夫

- 須賀川市議会副議長
- 文教福祉常任委員会
- 須賀川地方保健環境組合議会

幹事長 深谷 政憲

- 総務常任委員会副委員長
- 議会広報常任委員会
- 予算常任委員長
- 公立岩瀬病院企業団議会



駅西側方面から見る東西自由連絡通路外観

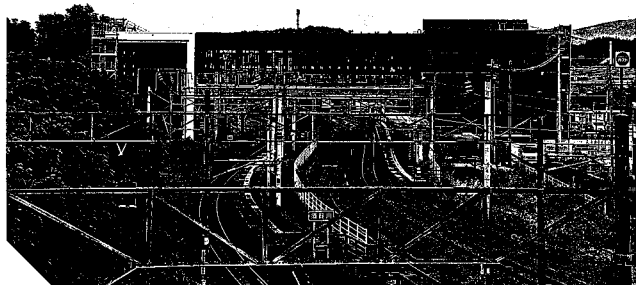
須賀川駅東西自由連絡通路等
整備事業の進捗状況について

愛称は「あかりのみち」

東西自由連絡通路の愛称募集の結果、458作品の中から「あかりのみち」が選ばれました。

本事業は、令和4年6月定例会にて議決された、協定に基づき、令和7年春の供用開始に向け工事を進めております。本年4月25日に開催された経済建設常任委員会において、進捗状況が報告されていますので、皆様にその内容をお知らせいたします。

東西自由連絡通路の東口及び西口の躯体工事がほぼ完了し、内装・設備工事に入っているとのことです（4月20日現在の進捗率は63%）。現在は、二部外部の足場が撤去され、外観が見えるようになっていきます。



線路を跨ぐ東西自由連絡通路(郡山方面を望む)

作者によると、花火大会・松明あかし、ウルトラマンのM78星などの『ひかり』にまつわる伝統に、人の温かさを加えた『あかり』というキーワードを選んだとの事。「あかり」の中に様々な願い思いが込められており、たくさんの発想が生まれてきそう、と選定されたそうです。工事は順調に進んでおりますので、完成を楽しみにお待ちください。



会派からの一般質問を紹介いたします。

令和6年3月定例会

■市長施政方針のうち令和6年度当初予算について

■墓地公園基本計画画直し進捗状況と今後の管理運営について

■広聴活動の充実と市民協働のまちづくりについて

令和6年6月定例会

■空港利用促進と観光誘客について

■シティプロモーションと移住定住について

■有害鳥獣対策について

広聴活動の充実と市民協働のまちづくりについて

質問 広聴の一つである、市民提案制度の現状と評価を伺う。

答弁 市民から建設的な提案を広く募集し、市政運営に反映させる目的で実施しており、市長が内容を確認後、担当課が調査し、今後の対応を提案者へ回答している。はがきやEメールで提案でき、有効な広聴手段の一つと考えている。

質問 広聴活動の充実を図るため、今後どのような取り組みを行う考えがあるのかを伺う。

答弁 現在行っている、まちづくり推進会議や各種団体との懇談会など、対話型の広聴を重視し、市公式LINEなどを積極的に活用し、さらなる広聴活動の充実を図っていく考えである。

質問 市民協働のまちづくりの観点から、市の自治会活動に対する現状認識を伺う。

答弁 少子高齢化や価値観の多様化などにより、自治会活動への参加者の減少や、担い手不足など運営上の課題が生じていると認識している。

質問 自治会に最も身近な地域コミュニティセンターの役割を伺う。

答弁 地域コミュニティの活性化や防災活動など、多様な機能を有する地域づくりの拠点として位置づけている。

有害鳥獣対策について

質問 今後の隊員数の見込みと隊員の確保に加え、負担軽減の

取組について伺う。

答弁 今後、隊員数の減少が懸念される。隊員の確保のため、狩猟免許取得費用や鉄砲所持許可取得費用、狩猟登録費用に対する助成などの負担軽減策を講じ、隊員数の維持を図っているところであり、引き続き各種助成を行うとともに有効な対策を検討していく考え。

質問 射撃技術を維持する上で地元にある射撃場の存在は大きい。施設の老朽化が著しく必要な訓練もこなせない状況にあると聞いている。隊員の射撃訓練場所の確保や整備について考えを伺う。

答弁 近隣の射撃場の存在は大変重要であると認識している。なお、鳥獣の生息域は広範囲であり、射撃場も広域で利用される施設であるため、猟友会や管内の自治体と共に、県に対し射撃場の整備や改修などの対策を求めている。

提言 実施隊の長時間に及ぶ対応への処遇の検討や、地元で射撃訓練ができる場の早期の整備、改修と、射撃訓練に行くまでの市道1-26号線の道路状況を改善していくべき。

行政視察研修



令和6年5月14日、15日の2日間、福島県庁及び宮城県富谷市を訪問いたしましたので、その一部を紹介いたします。

福島県庁

ローカル鉄道 利活用

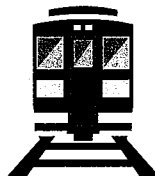
福島県庁にて生活環境部生活交通課長から、県内ローカル鉄道の現状と利活用促進について説明を受けました。

水郡線の利用状況と収支は表のとおりですが、いずれも赤字であることが分かりました。

これまで水郡線活性化協議会で様々な取り組みを実施してきました。人口減少社会により先行き厳しいですが、水郡線は特に郡山市や石川町へ通学する高校生にとって重要な交通

手段です。存続のため積極的な利用を推進しましょう。

県の新規事業「鉄道利用促進事業補助金」の活用など提言してまいります。



宮城県富谷市

農福連携事業

継続は力なりで、今ではドライ野菜フルーツはアンテナショップやネットショップにおいてブランド品として確立しているとのことでした。

(株)コリラファーム

就労継続支援B型事業所「アメハレ」を視察しました。定員20名に対し視察当時15名が利用していました。

作業内容は自社の畑での野菜作りやドライ野菜ドライフルーツ作り、お弁当と総菜作りなどです。

障がいなどを持つ人それぞれの得意分野を活かし、野菜作りや加工品作りに取り組んでいると説明を受け、人



路線	区間	平均通過人員 (令和4年度)	収支 (令和4年度)
水郡線	常陸大子～磐城塙	143人/日	▲5.30億円
	磐城塙～安積永盛	811人/日	▲10.91億円

水郡線活性化対策協議会	
設置	平成5年5月19日
構成員	郡山市、須賀川市、玉川村、石川町、浅川町、棚倉町、塙町、矢祭町、古殿町、平田村、鮫川村、福島県

ドライ野菜 Dry Vegetables



ドライフルーツ Dry Fruit



請求書

約定・都度 No. 008278-1-A

TOKIWA トキワ印刷株式会社

代表取締役 佐藤 信幸

本社/工場 〒662-0043 兵庫県須賀川市茶畑町 25-6
TEL 0248-76-8115 FAX 0248-76-8116

東京支社 〒103-8023 東京都中央区日本橋本町4-15-1 タカコービル7階
TEL 03-6264-8125 FAX 03-6264-8327

令和 6年 12月 23日

お客様コード 000001119

受注番号 複数受注
担当者 安藤 千晶

須賀川未来会議 御中

品名	数量	単位	単価	金額	消費税等	摘要
議会報告No.14 雲水峰 (A3, 1色)	3,700	枚	22.50	83,250	(10%)	
議会報告No.6 須賀川未来会議 (A3, 1色)	2,500	枚	22.50	56,250	(10%)	
議会報告No.6 みらい (A3, 1色)	3,000	枚	22.50	67,500	(10%)	
【10%課税対象】						
(税抜額 207,000円 消費税				20,700円 税込額 227,700円)		

恐れ入りますが、振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。
上記の通りご請求申し上げます。

■お振込先銀行

東邦銀行 須賀川支店 普通預金 4940

税抜金額計

消費税等計

御請求額

207,000

20,700

227,700

登録番号 T8380001011307

お客様No. 000001119

領収証

営業 200119

No. 000441-1

須賀川未来会議 御中

日付	2024年12月23日
金額	¥227,700※ (本体 207,000 消費税 20,700)

但し、印刷代として

上記の通り正に領収致しました。

入金内訳

内訳	金額	摘要
現金	¥227,700	12月分品代

TOKIWA トキワ印刷株式会社

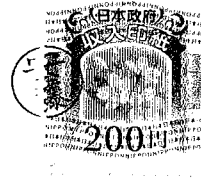
代表取締役 佐藤 信幸

本社/工場 〒662-0043 兵庫県須賀川市茶畑町 25-6
TEL 0248-76-8115 FAX 0248-76-8116

東京支社 〒103-8023 東京都中央区日本橋本町4-15-1 タカコービル7階
TEL 03-6264-8125 FAX 03-6264-8327

登録番号 T8380001011307

金額訂正、並びに社印取扱い印無きものは無効です。



取扱者印

佐藤



深谷 政憲

大河内和彦

溝井 光夫

災害対応特殊小型
動力ポンプ付水槽車

令和5年度に購入し須賀川消防署に配置。10トンの水が
積載可能で消火活動や生活用水の供給にあたります。

代表

大河内和彦

・経済建設常任委員会
・議会運営委員会
・須賀川地方広域消防組合議会議員

副代表

溝井 光夫

・須賀川市議会副議長
・文教福祉常任委員会
・須賀川地方保健環境組合議会議員

幹事長

深谷 政憲

・総務常任委員会
・議会広報常任委員会
・公立岩瀬病院企業団議会議長

地域の宝 | ご紹介



木曾供養塔群

木曾欠下観世音 塩田三十三番霊所第三十番札所

県道宇津峰江持線、塩田木曾集会所前を南側に約100m
進んだ左手に、供養塔群と木曾欠下観世音があります。

左側の板碑に

「諸どもに 守る木曾路の 観世音 法の光の たえぬ欠下」
と御詠歌が刻まれています。

この場所の上には、南北朝時代の宇津峰城の支城、矢柄
城跡があります。



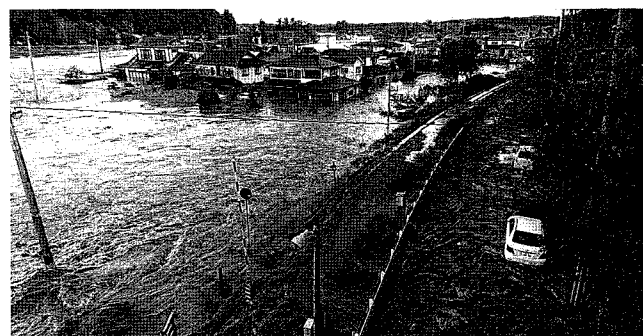
文化センターで開催された合併記念式典

新市誕生から20年

平成17年4月1日に須賀川
市、長沼町、岩瀬村が合併して
新しい須賀川市が誕生しました。
早いもので間もなく合併から20
周年を迎えます

この20年間には、東日本大震
災を始めとした度重なる地震に
よる被害、そして東日本台風風
による豪雨災害など、大きな災害
が続きました。

また新型コロナウイルス感染
症拡大は私たちの日常生活や学
業、仕事、地域コミュニティの在り
方など様々な分野に大きな影響
を及ぼし、今なお予断を許さな
い状況にあります。



令和元年東日本台風による被害状況(市野関、小作田地内)

このような中でピンチをチャ
ンスにと、市役所庁舎や学校、
公民館など公共施設の建て替
え、耐震化が進むとともに、河
川堤防や防災関連施設の整備
が進みました。

一方で少子高齢化・人口減少
の影響を受け、合併時に8万人
余りの人口は、令和6年10月1
日現在で7万2千人余りと、約
8千人減少しております。

このような社会情勢の中で
も、住み慣れた地域で安心して
暮らし続けられるような施策
の推進を、私たち議会側も求め
てまいります。

新年あけまして
おめでとうございます



2025年1月 No.14

議会報告

発行責任者

大河内和彦

須賀川市塩田字大沢沢220
Tel・Fax:0248-79-2902

令和7年度 予算要望書提出

令和6年9月26日

4分野41項目について要望しました。主な項目を紹介します。



分野 1

ひと

(1) 子育て環境の充実

- ・多様化する幼児教育、保育ニーズに沿った支援を講ずること。
- ・放課後児童クラブなどへの入所希望者全員の受け入れ体制を整備すること。

(2) 学校教育の充実

- ・心の教育の充実といじめ防止対策の強化を図り、子供たちの健全



な育成に努めること。

- ・給食費無償化の早期実現を図ること。

(3) 生涯学習・スポーツの推進

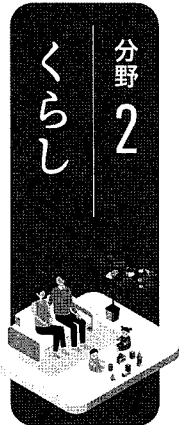
- ・地域コミュニティセンター化による学習機会の拡充と地域活動の充実を図ること。

(4) 健康で安心して生活できる環境の充実

- ・地域医療体制の充実のため、公立岩瀬病院に対し、公的医療機関の役割を十分に果たせるよう支援強化を図ること。
- ・市と医療機関、介護施設などの連携により、病気と介護・寝たきり予防に努めること。

(5) ともに支え合う福祉社会の推進

- ・障がい者の社会参加の促進、生き甲斐とやりがいを実感できる農福連携の推進を図ること。



分野 2

くらし

(1) 防災・減災対策の推進

- ・危機管理体制強化を図るため、

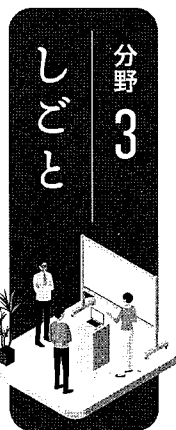
- ・有識者の配置を検討すること。
- ・戸別受信機、住宅用火災警報器の公費による全戸設置を早急に定めること。

(2) 安全で安心な生活の推進

- ・交通安全設備の希望箇所へ速やかな設置を図ること。
- ・登下校の安全確保及び通学路の防犯灯設置要望には、速やかに対応すること。

(3) 生活基盤の充実と循環型社会の形成

- ・交通弱者の移動手段を確保するため、運行事業者への支援を継続すること。
- ・舗装率向上と生活道路の改良を進めること。
- ・水道未布設地域へ対策を講じること。
- ・合併処理浄化槽設置への支援強化を図ること。



分野 3

しごと

(1) 雇用の創出と雇用環境の充実

- ・地元企業への支援策の充実を図ること。

- ・ワークライフバランスの推進を図り、諸施策の具体化を図ること。

(2) 農林業の振興

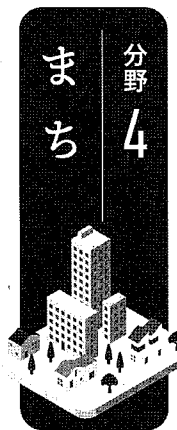
- ・地域特産物の開発と産地形成を

- ・図るとともに、販路拡大に努め、地元飲食店などへ地産地消の推進を図ること。

- ・多発する自然災害による農産物被害等に対しては、生産意欲の維持につながる支援を講ずること。

(3) 商工業の振興

- ・地域内経済循環分析を活用し、地元企業と市民の所得に結び付けること。



分野 4

まち

(1) 地域の宝の活用と交流の推進

- ・地域の文化財の活用と、本市の文化芸術の継承を図り、郷土愛が醸成できるよう取り組み強化を図ること。

(2) 市民協働によるまちづくりの推進

- ・自治会活動に対する支援の拡充、特に、高齢化や世帯数の激減等により運営に苦慮している自治会に対して、支援の強化を図ること。

(3) 開かれた行政の推進

- ・公共施設等個別施設計画の実施にあたっては、説明会等を開催し、広く市民の理解を得ること。
- ・公契約条例を制定すること。

行政視察研修



令和6年11月11日から13日の3日間、香川県丸亀市と愛媛県八幡浜市を訪問いたしましたので、その一部を紹介いたします。

香川県丸亀市

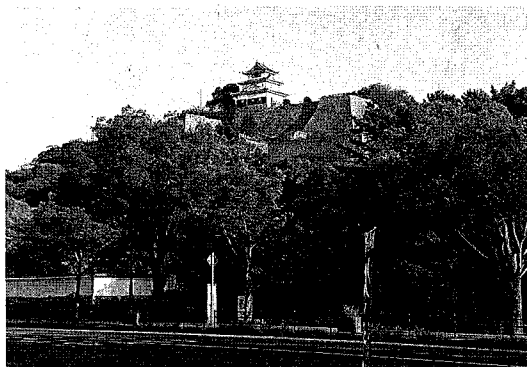
- ◎シテプロモーション
- ◎移住定住

丸亀市では動画を使いシテプロモーションを展開しています。

地元ケーブルテレビ局に制作を委託し、令和元年から現在までに52本を製作しており、費用は1本8万円程度(交通費等別料金有り)と聞き驚きました。



丸亀市の研修



現存12天守のひとつ「丸亀城」はシテプロモーションのシンボル

地元ゆかりのインフルエンサーを活用し、若者に視てもらえる内容で、宣伝効果は抜群とのことでした。瀬戸内海に面し日照時間が長く、温暖で住みやすい気候を生かした移住定住施策により、毎年1000人前後の移住者があるとのことでした。

特に離島への移住には子育てや交通費、空き家リホームなどの支援が手厚く、須賀川市における中山間

地域の人口減少対策と重なるものがあると感じました。

愛媛県八幡浜市

- ◎果樹(柑橘)振興策
- ◎議員定数と報酬

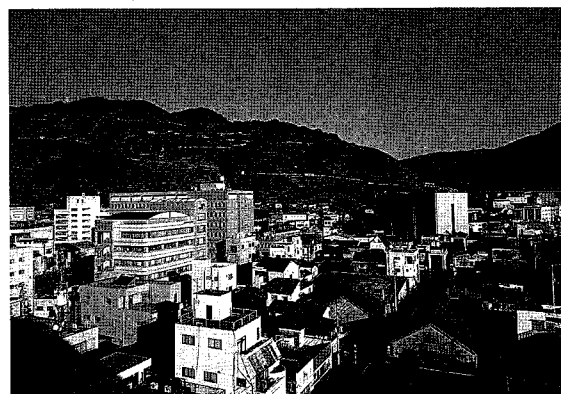
八幡浜市は愛媛県内の温州みかん生産量の約半分を占める全国有数の柑橘産地です。

近年は全国的傾向である経営者の高齢化と後継者不足が柑橘栽培農家でも例外ではなく、25年前と比べ農家戸数は4割減とのことでした。

地域外や非農家からのイターンを促進するため、生産者10人程度で



八幡浜市の研修



街並みに迫る急斜面にみかんが栽培されています

支援チームを構成するとともに、就農準備資金や空き家修繕補助など手厚い支援に取り組んでいます。

また収穫時期の労働力不足を補うため、閉校した小学校をアルバイターの宿泊施設に改修するなどの取り組みや、イターン、都市との交流などに取り組んでいます。

議員定数は平成17年の合併後に23人と定め、以後19人、16人と削減しており、人口減少に伴い、令和7年8月から15人とするのが決定していました。

報酬は立候補しやすい環境をつくるため、合併時に戻す形で増額が決定しています。

今回の研修成果を須賀川市における活動に生かしてまいります。

令和6年

12月定例会一般質問



1 コロナ禍後のコミュニティの推進について

質問 コロナ禍後のコミュニティの再生をどう推進していくのか。

答弁 各コミュニティセンターを、地域コミュニティ活動や防災活動を始めたとした多様な機能を有する地域づくりの拠点として、それぞれの特色を生かした地域づくりに取り組んでいく。「地域づくり出前講座」の周知啓発を行い、市民と協働によるコミュニティ再生に取り組んでいく。

質問 地域コミュニティ活性化推進事業の今年度の実績。
答弁 11月末現在、自治会等活動支援事業1件 コミュニティ助成事業が1件 過疎

地域ふるさとづくり支援事業1件。

質問 自治会等活動支援事業費補助金は、地域コミュニティの活性化を図る上で特に重要、利用実績が1件となっている。今後、利用団体の増加をどう図っていくのか。

答弁 嘱託員会議やコミュニティセンターだよりなどで周知啓発、本事業の取組実績の紹介を行い、利用を働きかける。



質問の目的

コロナ禍の生活の制限や自粛が尾を引いている。失われた3年を取り戻すために、地域コミュニティの再生を図っていくためには、コミュニティセンターの果たすべき役割は重要。事務事業量に見合った職員配置も必要ではないか？

2 高齢者支援について

質問 平成17年4月の市町村合併当時と直近の75歳以上の人口と、令和12年(推計)の75歳以上の人口の推計値。

答弁

平成17年…7,555人
令和6年10月31日…

11,193人

令和12年(推計)…

13,543人

質問 敬老祝品の見直しを実施した背景は。

答弁 少子高齢化が一層進行し、改めて敬老・長寿を人生の節目において祝うことの明確化と、世代間交流の契機としていただきたく、賀寿年齢を支給対象とした。

質問 敬老事業の見直しに對しての問い合わせ等は、どういったものであったか、周知方法なども含め、今後の事業展開をどう考えているか。

答弁 今年度支給されなかった方から、厳しいご意見がある一方、「子どもの教育のために役立ててほしい」などの声があった。

今回の見直しは、市広報などでも周知してきたが、引

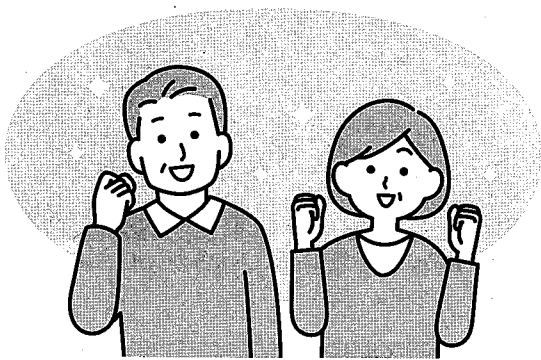
き続き理解が得られるよう努めていく。

質問の目的

郡山市では、敬老の日

に75歳以上の方にお茶(200円～300円程度)を配布。88才、99才の方に温室時計を贈呈。

天栄村では、75歳以上の方に、500円×2枚の商品券。
高額でなくとも、全員に祝品を届けられるよう検討しなおすべきと考える。



議会報告

発行責任者

溝井 光夫

須賀川市雨田字十三仏11
Tel・Fax:0248-79-3230

須賀川未来会議

新年あけまして
おめでどうございます

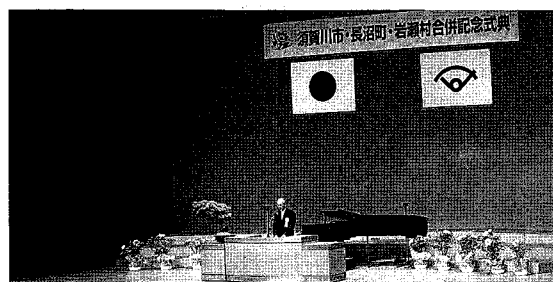


深谷 政憲 大河内 和彦 溝井 光夫

災害対応特殊小型
動力ポンプ付水槽車

令和5年度に購入し須賀川消防署に配置。10トンの水が積載可能で消火活動や生活用水の供給にあたります。

代表	大河内和彦 (3期目 小塩江地区)	・経済建設常任委員長 ・議会運営委員会 ・須賀川地方広域消防組合議会議員
副代表	溝井 光夫 (3期目 大東地区)	・副議長 ・文教福祉常任委員会 ・須賀川地方保健環境組合議会議員
幹事長	深谷 政憲 (2期目 稲田地区)	・総務常任委員会副委員長 ・議会広報常任委員会 ・予算常任委員長 ・公立岩瀬病院企業団議会議員



文化センターで開催された合併記念式典

令和6年を振り返りますと、須賀川市においては幸いにも大きな自然災害には見舞われませんでした。全国的に見れば能登半島地震を始め、各地での記録的豪雨災害があり、復旧に時間がかかる地域が多い状況です。

亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被害に遭われた方々が一日も早く普通の生活に戻れるようお祈り申し上げます。

そのような中で、改めてお互いに行えることを助け合う「共助」の精神が大切だと感じた一年でした。

少子高齢化・人口減少はこれから進展しますので、時代に合った人と人とのつながりを広めていく必要があるのではないのでしょうか。

私たち須賀川未来会議としても、微力ではありますが現場の声を聴き尽力してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

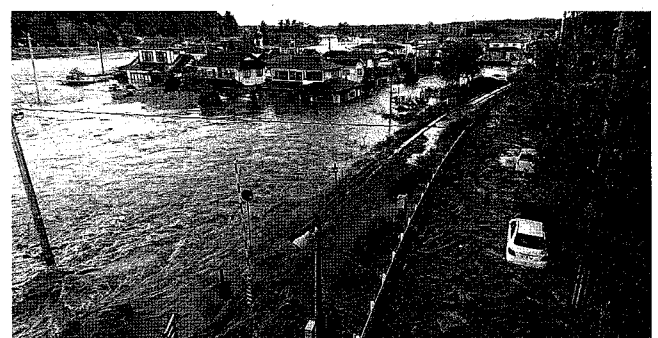


新市誕生から20年

平成17年4月1日に須賀川市、長沼町、岩瀬村が合併して新しい須賀川市が誕生しました。早いもので間もなく合併から20周年を迎えます。

この20年間は、東日本大震災を始めとした度重なる地震による被害、そして東日本台風による豪雨災害など、大きな災害が続きました。

また新型コロナウイルス感染症拡大は私たちの日常生活や学業、仕事、地域コミュニティの在り方など様々な分野に大きな影響を及ぼし、今なお予断を許さない状況にあります。



令和元年東日本台風による被害状況(市野関、小作田地内)

このような中でピンチをチャンスにと、市役所庁舎や学校、公民館など公共施設の建て替え、耐震化が進むとともに、河川堤防や防災関連施設の整備が進みました。

一方で少子高齢化・人口減少の影響を受け、合併時に8万人余りの人口は、令和6年10月1日現在で7万2千人余りと、約8千人減少しております。

このような社会情勢の中でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるような施策の推進を、私たち議会側も求めてまいります。

令和7年度 予算要望書提出

令和6年9月26日

4分野41項目について要望しました。主な項目を紹介します。



(1) 子育て環境の充実

- ・多様化する幼児教育、保育ニーズに沿った支援を講ずること。
- ・放課後児童クラブなどへの入所希望者全員の受け入れ体制を整備すること。

(2) 学校教育の充実

- ・心の教育の充実といじめ防止対策の強化を図り、子供たちの健全



な育成に努めること。

- ・給食費無償化の早期実現を図ること。

(3) 生涯学習・スポーツの推進

- ・地域コミュニティセンター化による学習機会の拡充と地域活動の充実を図ること。

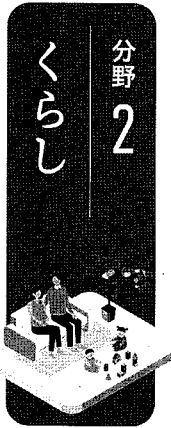
(4) 健康で安心して生活できる環境の充実

- ・地域医療体制の充実のため、公立岩瀬病院に対し、公的医療機関の役割を十分に果たせるよう支援強化を図ること。

- ・市と医療機関、介護施設などの連携により、病氣と介護・寝たきり予防に努めること。

(5) ともに支え合う福祉社会の推進

- ・障がい者の社会参加の促進、生き甲斐とやりがいを実感できる農福連携の推進を図ること。



(1) 防災・減災対策の推進

- ・危機管理体制強化を図るため、

有識者の配置を検討すること。

- ・戸別受信機、住宅用火災警報器の公費による全戸設置を早急に進めること。

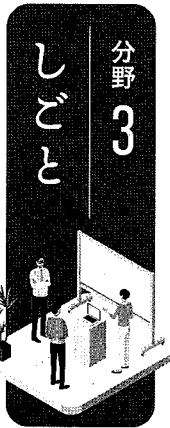
(2) 安全で安心な生活の推進

- ・交通安全設備の希望箇所へ速やかな設置を図ること。
- ・登下校の安全確保及び通学路の防犯灯設置要望には、速やかに対応すること。

(3) 生活基盤の充実と循環型社会の形成

- ・交通弱者の移動手段を確保するため、運行事業者への支援を継続すること。
- ・舗装率向上と生活道路の改良を進めること。
- ・水道未布設地域へ対策を講じること。

- ・合併処理浄化槽設置への支援強化を図ること。



(1) 雇用の創出と雇用環境の充実

- ・地元企業への支援策の充実を図ること。

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、諸施策の具体化を図ること。

(2) 農林業の振興

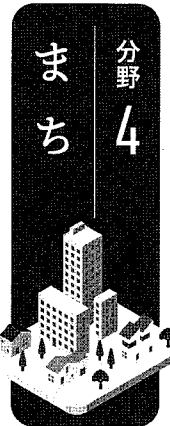
- ・地域特産物の開発と産地形成を

図るとともに、販路拡大に努め、地元飲食店などへ地産地消の推進を図ること。

- ・多発する自然災害による農産物被害等に対しては、生産意欲の維持につながる支援を講ずること。

(3) 商工業の振興

- ・地域内経済循環分析を活用し、地元企業と市民の所得に結び付けること。



(1) 地域の宝の活用と交流の推進

- ・地域の文化財の活用と、本市の文化芸術の継承を図り、郷土愛が醸成できるよう取り組み強化を図ること。

(2) 市民協働によるまちづくりの推進

- ・自治会活動に対する支援の拡充、特に、高齢化や世帯数の激減等により運営に苦慮している自治会に対して、支援の強化を図ること。

(3) 開かれた行政の推進

- ・公共施設等個別施設計画の実施にあたっては、説明会等を開催し、広く市民の理解を得ること。
- ・公契約条例を制定すること。

行政視察研修



令和6年11月11日から13日の3日間、香川県丸亀市と愛媛県八幡浜市を訪問いたしましたので、その一部を紹介いたします。

香川県丸亀市

◎シテプロモーション

◎移住定住

丸亀市では動画を使いシテプロモーションを展開しています。

地元ケーブルテレビ局に制作を委託し、令和元年から現在までに52本を製作しており、費用は1本8万円程度(交通費等別料金有り)と聞き驚きました。



丸亀市の研修



現存12天守のひとつ「丸亀城」はシテプロモーションのシンボル

地元ゆかりのインフルエンサーを活用し、若者に視てもらえる内容で、宣伝効果は抜群とのことでした。瀬戸内海に面し日照時間が長く、温暖で住みやすい気候を生かした移住定住施策により、毎年1000人前後の移住者があるとのことでした。

特に離島への移住には子育てや交通費、空き家リホームなどの支援が手厚く、須賀川市における中山間

地域の人口減少対策と重なるものがあると感じました。

愛媛県八幡浜市

◎果樹(柑橘)振興策

◎議員定数と報酬

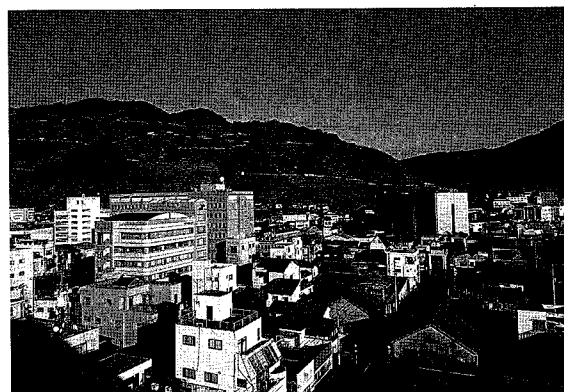
八幡浜市は愛媛県内の温州みかん生産量の約半分を占める全国有数の柑橘産地です。

近年は全国的傾向である経営者の高齢化と後継者不足が柑橘栽培農家でも例外ではなく、25年前と比べ農家戸数は4割減とのことでした。

地域外や非農家からのイターンを促進するため、生産者10人程度で



八幡浜市の研修



街並みに迫る急斜面にみかんが栽培されています

支援チームを構成するとともに、就農準備資金や空き家修繕補助など手厚い支援に取り組んでいます。

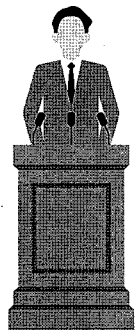
また収穫時期の労働力不足を補うため、閉校した小学校をアルバイターの宿泊施設に改修するなどの取り組みや、イターン、都市との交流などに取り組んでいます。

議員定数は平成17年の合併後に23人と定め、以後19人、16人と削減しており、人口減少に伴い、令和7年8月から15人とすることが決定していました。

報酬は立候補しやすい環境をつくるため、合併時に戻す形で増額が決定しています。

今回の研修成果を須賀川市における活動に生かしてまいります。

会派からの一般質問を 紹介いたします。



【令和6年9月定例会】

- ・雇用の創出について
- ・職員の働き方改革及び人事政策について
- ・持続可能な農業農村の整備について
- ・地域コミュニティの支援について

【令和6年12月定例会】

- ・コロナ禍後のコミュニティの推進について
- ・高齢者支援について
- ・墓地公園基本計画見直し後の整備進捗状況について
- ・松明あかし開催継続に向けた課題と対策について
- ・須賀川市人材育成基本方針について

持続可能な農業農村 の整備について

問 農業経営基盤強化促進法が改正され地域計画の策定が義務付けられた。地域計画の概要と策定に向けた取り組み体制及びスケジュールを伺う。

答 高齢化や人口減少の進行により農業者が減少し、耕作放棄地が増加するなど地域の農地が適切に利用されなくな

る恐れがある。

このような課題解決のため地域での話し合いを通じ、将来の農地利用の姿を明確にするものである。

現在、地域の農業者、市、農業委員会、県など関係機関が一体となって策定に取り組んでおり、令和7年3月までに策定する考えである。

問 地域計画の活用方法と、策定後における国などからの支援見込みを伺う。

答 地域計画に位置付けられた担い手に、農地の集積・集約を進めていく考えである。

国では地域計画と農地や担い手に関する補助事業の連携について、来年度の予算編成において検討されている。

問 耕作放棄地の拡大防止、食料自給率向上を視野に、農業経営の安定を図るためにも新たな特産物の開発に取り組むべきと考えるが市の見解を伺う。

答 本市の自然条件に合った作物の選定、栽培技術の確立、販路の確保など、市のみの対応では難しいため、県農業普及所やJ・A、地域の農業者などと協議し、可能性を検討していく考えである。

提言 食料安全保障や国土保全の役割を加味し、持続的な農業農村の整備を提言



地域コミュニティの 支援について

問 自治会加入率が低下している傾向にあるが、加入促進の取り組みと町内会・行政区の地域活動に対する支援策を伺う。

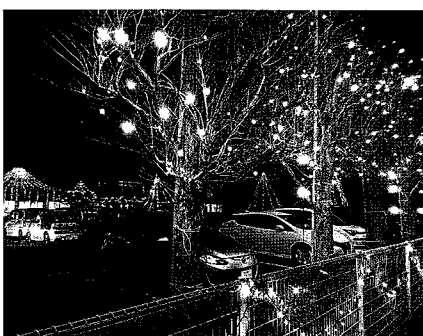
答 集会施設整備補助金を始め、地域活動の担い手となる

人材育成や地域の様々な活動への補助金のほか、コミュニティ助成事業や県の事業などにより支援している。

問 集落支援員の設置に向けた進捗状況を伺う。

答 集落支援員は地域コミュニティ活動を推進するため、ノウハウや知見を有した人材を設置するものである。地域の実情を踏まえながら設置の在り方も含め検討していく考えである。

提言 行政区や各種団体などで役員のなり手がない、団体運営方法が分からないなどの声があるため、集落支援員の早期設置を提言



大東光のイルミネーション



深谷 政憲

大河内 和彦

溝井 光夫

災害対応特殊小型
動力ポンプ付水槽車

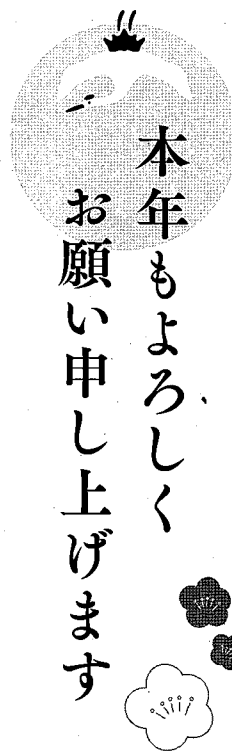
令和5年度に購入し須賀川消防署に配置。10トンの水が
積載可能で消火活動や生活用水の供給にあたります。

須賀川未来会議

代 表／大河内和彦 (3期 小塩江地区)

副代表／溝井 光夫 (3期 大東地区)

幹事長／深谷 政憲 (2期 稲田地区)



2025年1月 No.6

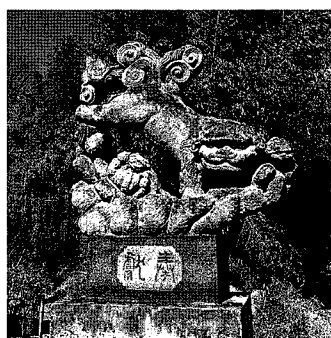
議会報告

発行責任者
深谷政憲

須賀川市保土原字南屋敷73
Tel・Fax:0248-62-5566

昨年8月の市長選で大寺市長が誕生いたしました。会派として、溝井副議長、大河内経済建設常任委員長、深谷総務常任副委員長・予算常任委員長として、市民のしあわせ実現、元氣な須賀川を創るため、しっかりと職責を果たして参ります。

市政の重要課題に 取り組んで参ります



保土原神社参道入口の狛犬

皆様におかれましては、良き新年を迎えられたことと、心より喜び申し上げます。
3名で「須賀川未来会議」を結成し5年半余りが過ぎました。引き続き、市政発展のため、3人で力合せて議会活動を行って参る所存ですので、どうぞご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。



文化センターで開催された合併記念式典

また新型コロナウイルス感染症拡大は私たちの日常生活や学業、仕事、地域コミュニティの在り方など様々な分野に大きな影響を及ぼし、今なお予断を許さない状況にあります。

このような中でピンチをチャンスにと、市役所庁舎や学校、公民館など公共施設の建て替え、耐震化が進むとともに、河川堤防や防災関連施設の整備が進みました。
一方で少子高齢化・人口減少の影響を受け、合併時に8万人余りの人口は、令和6年10月1日現在で7万2千人余りと、約8千人減少しております。
このような社会情勢の中でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるような施策の推進を、私たち議会側も求めてまいります。

このような中でピンチをチャンスにと、市役所庁舎や学校、公民館など公共施設の建て替え、耐震化が進むとともに、河川堤防や防災関連施設の整備が進みました。



令和元年東日本台風による被害状況(市野関、小作田地内)

新市誕生から20年

平成17年4月1日に須賀川市、長沼町、岩瀬村が合併して新しい須賀川市が誕生しました。早いもので間もなく合併から20周年を迎えます

この20年間には、東日本大震災を始めとした度重なる地震による被害、そして東日本台風による豪雨災害など、大きな災害が続きました。

また新型コロナウイルス感染症拡大は私たちの日常生活や学業、仕事、地域コミュニティの在り方など様々な分野に大きな影響を及ぼし、今なお予断を許さない状況にあります。

このような中でピンチをチャンスにと、市役所庁舎や学校、公民館など公共施設の建て替え、耐震化が進むとともに、河川堤防や防災関連施設の整備が進みました。

一方で少子高齢化・人口減少の影響を受け、合併時に8万人余りの人口は、令和6年10月1日現在で7万2千人余りと、約8千人減少しております。

このような社会情勢の中でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるような施策の推進を、私たち議会側も求めてまいります。

このような中でピンチをチャンスにと、市役所庁舎や学校、公民館など公共施設の建て替え、耐震化が進むとともに、河川堤防や防災関連施設の整備が進みました。

令和7年度 予算要望書提出

令和6年9月26日

4分野41項目について要望しました。主な項目を紹介します。



分野1

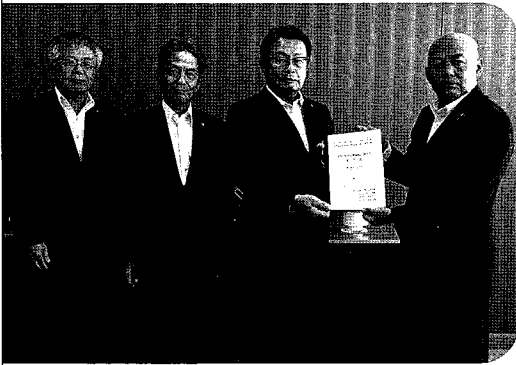
ひと

(1) 子育て環境の充実

- ・多様化する幼児教育、保育ニーズに沿った支援を講ずること。
- ・放課後児童クラブなどへの入所希望者全員の受け入れ体制を整備すること。

(2) 学校教育の充実

- ・心の教育の充実といじめ防止対策の強化を図り、子供たちの健全



分野2

くらし

(1) 防災・減災対策の推進

- ・危機管理体制強化を図るため、

な育成に努めること。

- ・給食費無償化の早期実現を図ること。

(3) 生涯学習・スポーツの推進

- ・地域コミュニティセンター化による学習機会の拡充と地域活動の充実を図ること。

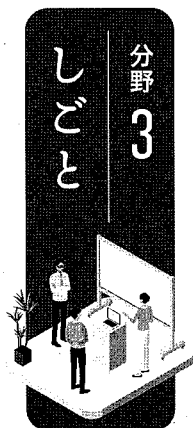
(4) 健康で安心して生活できる環境の充実

- ・地域医療体制の充実のため、公立岩瀬病院に対し、公的医療機関の役割を十分に果たせるよう支援強化を図ること。

- ・市と医療機関、介護施設などの連携により、病気と介護・寝たきり予防に努めること。

(5) ともに支え合う福祉社会の推進

- ・障がい者の社会参加の促進、生き甲斐とやりがいを実感できる農福連携の推進を図ること。



分野3

しごと

(1) 雇用の創出と雇用環境の充実

- ・地元企業への支援策の充実を図ること。

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、諸施策の具体化を図ること。

(2) 農林業の振興

- ・地域特産物の開発と産地形成を

有識者の配置を検討すること。

- ・戸別受信機、住宅用火災警報器の公費による全戸設置を早急に進めること。

(2) 安全で安心な生活の推進

- ・交通安全設備の希望箇所へ速やかな設置を図ること。

- ・登下校の安全確保及び通学路の防犯灯設置要望には、速やかに対応すること。

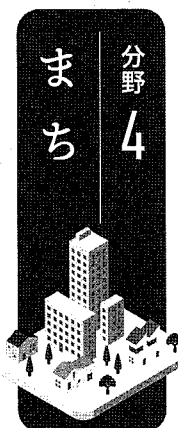
(3) 生活基盤の充実と循環型社会の形成

- ・交通弱者の移動手段を確保するため、運行事業者への支援を継続すること。

- ・舗装率向上と生活道路の改良を進めること。

- ・水道未布設地域へ対策を講じること。

- ・合併処理浄化槽設置への支援強化を図ること。



分野4

まち

(1) 地域の宝の活用と交流の推進

- ・地域の文化財の活用と、本市の文化芸術の継承を図り、郷土愛が醸成できるよう取り組み強化を図ること。

(2) 市民協働によるまちづくりの推進

- ・自治会活動に対する支援の拡充、特に、高齢化や世帯数の激減等により運営に苦慮している自治会に対して、支援の強化を図ること。

(3) 開かれた行政の推進

- ・公共施設等個別施設計画の実施にあたっては、説明会等を開催し、広く市民の理解を得ること。
- ・公契約条例を制定すること。

図るとともに、販路拡大に努め、地元飲食店などへ地産地消の推進を図ること。

- ・多発する自然災害による農産物被害等に対しては、生産意欲の維持につながる支援を講ずること。

(3) 商工業の振興

- ・地域内経済循環分析を活用し、地元企業と市民の所得に結び付けること。

行政視察研修



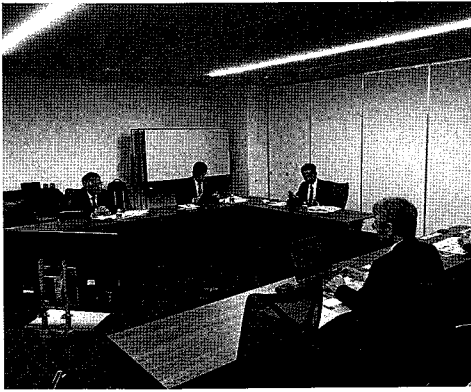
令和6年11月11日から13日の3日間、香川県丸亀市と愛媛県八幡浜市を訪問いたしましたので、その一部を紹介いたします。

香川県丸亀市

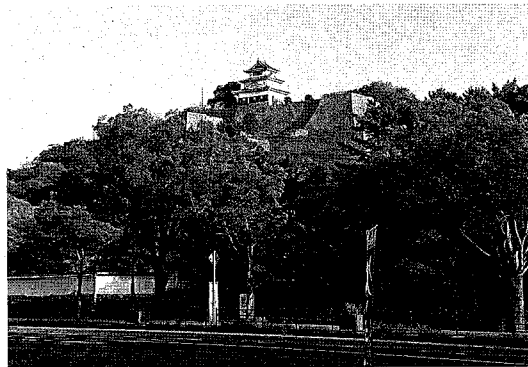
◎シテプロモーション
◎移住定住

丸亀市では動画を使いシテプロモーションを展開しています。

地元ケーブルテレビ局に制作を委託し、令和元年から現在までに52本を製作しており、費用は1本8万円程度(交通費等別料金有り)と聞き驚きました。



丸亀市の研修



現存12天守のひとつ「丸亀城」はシテプロモーションのシンボル

地元ゆかりのインフルエンサーを活用し、若者に視てもらえる内容で、宣伝効果は抜群とのことでした。瀬戸内海に面し日照時間が長く、温暖で住みやすい気候を生かした移住定住施策により、毎年1000人前後の移住者があるとのことでした。

特に離島への移住には子育てや交通費、空き家リホームなどの支援が手厚く、須賀川市における中山間

地域の人口減少対策と重なるものがあると感じました。

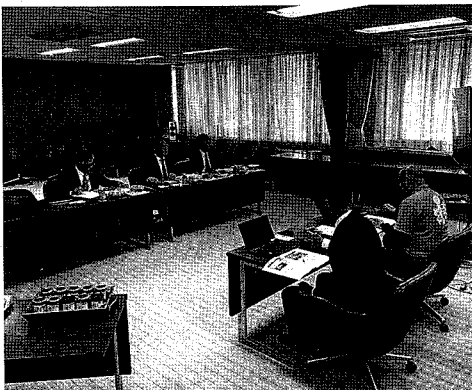
愛媛県八幡浜市

◎果樹(柑橘)振興策
◎議員定数と報酬

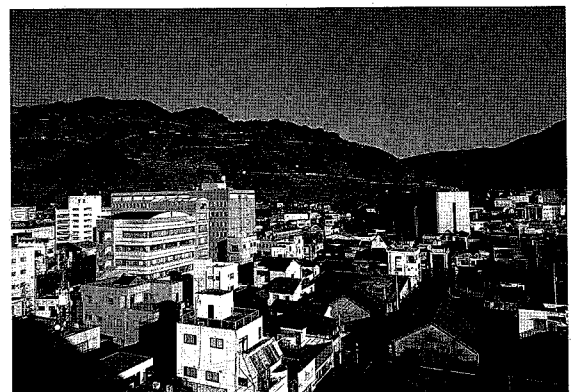
八幡浜市は愛媛県内の温州みかん生産量の約半分を占める全国有数の柑橘産地です。

近年は全国的傾向である経営者の高齢化と後継者不足が柑橘栽培農家でも例外ではなく、25年前と比べ農家戸数は4割減とのことでした。

地域外や非農家からのイターンを促進するため、生産者10人程度で



八幡浜市の研修



街並みに迫る急斜面にみかんが栽培されています

支援チームを構成するとともに、就農準備資金や空き家修繕補助など手厚い支援に取り組んでいます。

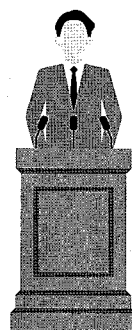
また収穫時期の労働力不足を補うため、閉校した小学校をアルバイターの宿泊施設に改修するなどの取り組みや、イターン、都市との交流などに取り組んでいます。

議員定数は平成17年の合併後に23人と定め、以後19人、16人と削減しており、人口減少に伴い、令和7年8月から15人とすることが決定していました。

報酬は立候補しやすい環境をつくるため、合併時に戻す形で増額が決定しています。

今回の研修成果を須賀川市における活動に生かしてまいります。

会派からの一般質問を 紹介いたします。



〔令和6年9月定例会〕

- ・雇用の創出について
- ・職員の働き方改革及び人事政策について
- ・持続可能な農業農村の整備について
- ・地域コミュニティの支援について

〔令和6年12月定例会〕

- ・コロナ禍後のコミュニティの推進について
- ・高齢者支援について
- ・墓地公園基本計画見直し後の整備進捗状況について
- ・松明あかし開催継続に向けた課題と対策について
- ・須賀川市人材育成基本方針について

墓地公園基本計画 見直し後の整備の 進捗状況について

問 合葬墓等の整備について現在までの進捗状況を伺う。

答 合葬墓等整備エリアの一部が軟弱地盤であることが判明し、地盤改良の検討に期間を要したのと、工事費の高騰による資金計画の再検討を行った結果、樹木葬墓地の整備を先行して進めることとした。

問 改めて、今後の整備スケジュール及び供用開始の見通しについて伺う。

答 樹木葬墓地は、今年度着工し、令和7年度中に供用開始し

たい。合葬墓は、樹木葬墓地の使用状況や市営墓地特別会計の状況を踏まえたうえで、整備について検討を行う。

問 令和7年度以降、区画墓所の募集予定はないとのことであるが、長年未使用状態にある区画墓所の返還を求め、再募集を検討すべきと思うが、市の考えを伺う。

答 未使用状態の区画墓所については、使用状況などの調査を検討する。返還届出があった区画墓所（現在28区画）は、まとまった段階で再募集する考えである。

本年3月定例会において、
墓地公園計画見直しに係る



墓地公園・樹木葬墓地整備予定地

一般質問を行った際には、合葬墓を整備すると答弁がありました。その後の地盤調査・実施設計において、軟弱地盤と判明、地盤改良費と物価高騰による工事費が大幅に増額となることから、残念ですが、合葬墓の整備は先送りとなりました。

常任委員会 活動について

各議員は3つの常任委員会うち1つに所属して、所管する事務の調査及び、政策に関して「具体的調査項目」を設定し、先進地の行政視察を行なうなどして、市当局に対し提言を行います。

令和6年度の各委員会の行政調査は、昨年10月に実施いたしました。視察報告書は3月末に議会HPに掲載予定です。

名 称	会派議員	具体的調査項目（調査先）
総 務	深谷 政憲	①地方公共団体のDX推進について [視察先] ▶長野県塩尻市 ②予算編成の在り方について [視察先] ▶新潟県柏崎市
経済建設	大河内和彦	①鉄道駅周辺のコンセプトを持ったまちづくりについて [視察先] ▶千葉県八千代市 ②地域循環共生圏の取組みについて [視察先] ▶千葉県木更津市
文教福祉	溝井 光夫	①伊東ロケーションサービスについて [視察先] ▶静岡県伊東市 ②部活動の地域移行について [視察先] ▶静岡県袋井市

費 務 事



株式会社ヤマダデンキ
本部 群馬県高崎市栄町1-1
<https://www.yamada-denkiweb.com>

登録番号: T2070001036729

テックランド須賀川店
0248-63-9901
御来店誠に有り難う御座います
ヤマダデジタル会員募集中!

領収書

No. 0857-402-032467 [カード売]

2024/09/04 19:48
レジ担当: 711123 さとう (み)
販売担当: 711123 さとう (み)
会員No: 9012906897470

3199085018 ICC69 69
ITツイン 1: 持帰 外10

¥1,037

会員値引対象(5%)

-¥52

3199085018 ICC69 69
ITツイン 1: 持帰 外10

¥1,037

会員値引対象(5%)

-¥52

3199084011 ICC69 69
ITツイン 1: 持帰 外10

¥1,037

会員値引対象(5%)

-¥52

9006108017 カイン社 持ち帰
デ-ジユウ 1: 持帰 外10

777

¥0

会員値引額計

-¥156

小計

¥2,955

消費税

税込計

¥3,250

ポイント値引

0P

合計

¥3,250

(内消費税

¥295)

10%対象 ¥3,250
(内消費税 ¥295)

カード ¥3,250

会社コード: 0132 PayPay

受付番号: 202409040857402032467

処理通番: 000000000018834

オーダーID:

OVH20240904194839597Cok2

取引日時: 20240904194839

通貨: JPY

決済額: ¥3,250

お預り

¥0

お釣り

¥0

創業 明治元年

日用商会

福島県須賀川市上北町109
TEL 0248(73)3018
FAX 0248(73)3071

登録番号 T3380002020096

2025-03-06 15:48

020840

5 点	@682
文具・その他	¥3,410外
5 点	@120
文具・その他	¥600外
2 点	@190
文具・その他	¥380外
6 点	@300
文具・その他	¥1,800外
10 点	@100
文具・その他	¥1,000外
外税対象	10.0% ¥7,190
外税	¥719
合計	¥7,909
お預り	¥10,000
お釣り	¥2,091

2025年03月06日
一連No. 020840
領収No. 000003

領収証
須賀川未来会議様

¥7,909-

外税対象 10.0% ¥7,190-
外税 ¥719-

(但し

として、正に領収致しました)

印刷面を内側に折って保管願います

創業 明治元年

有限会社

日用商会

登録番号: T3380002020096



0841

須賀川市上北町109

TEL 0248(73)3018

FAX 0248(73)3071